

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
聴覚・ろう重複センターすぎな		2025年 12月 19日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		・活動内容によって部屋の使い方を分けることができている。(個別対応可能、安心して過ごせる小部屋がある) ・改修工事で活動室が広がった。 ・人数が多くなった時は近くの公園も利用している。 ・体を動かすのが好きな子が多い場合は少し狭く感じるが、公園に行ける日は行って遊んでるので良いと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11	2	・子供の状況によって配置人数も調整している。 ・マンツーマンが必要な子どもを決めている点に分かりやすく良いと思った。	・児童指導員の数を増やすことが課題である。 ・正職員がとても少ない。今いる正職員はとても頑張ってくれており、心強いが、たまに正職員のメンタルや身体の負担が心配になることがある。せめてもう1人正職員がいると正職員とパート・アルバイトの負担は減ると感じている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13		・情報の種類によって場所に分けたり、まとめたりして見やすいように工夫している。 ・絵カードなどを使って見てわかる環境にしている。 ・個室で過ごす児童にはリモートで様子を伝える等情報保障をしている。 ・障害によって絵カードや顔写真を使って視覚でもわかるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・毎日掃除している。 ・おもちゃの種類で分け、箱に写真を貼り分りやすい	・現在、整頓中であるが、もう少し整理整頓をした方がよいと思われる場所もある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		・必要に応じて相談室も使えるようにしている。 ・勉強部屋は壁に向かって机が置いてあり、集中しやすいと思う。 ・遊ぶ、学ぶ、1人になりたい子など入れ替わりして使っている。 ・個室でも必要に応じて上から子どもの様子を見ることができる空間があって、安心して個室に入ってもらえることと思った。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	1	・アルバイトスタッフにも意見を聞くようにしている。 ・問題が発生した時は職員全員が周知できるようファイルに閉じている ・職員同士、常に話し合いのできる環境が整っていると思った。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・保護者が何を期待しているか職員で共有するようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	2	・日々の会話やアルバイトスタッフも含めた会議等で意見をもらうようにしている。 ・積極的に意見交換がされていると思う。 ・空き時間が無い中職員の意見を聞く時間を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		13		・第三者に評価やアドバイスをもらう機会が必要だと思う。 ・第三者外部評価を行った方が、安心感があると思った。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	・受講後ミーティング等している。	・研修日程はもう少し早く知らせてもらいたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13			確認しやすい周知をしてほしいと思った。

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13		・本人、家族と職員との面接等の内容を公表している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		・職員同士で各子どもに対しての行動を話している ・管理者が、他の職員も意見を言いやすい声かけを丁寧にしていると思った。	・支援計画の作成にパートスタッフもさらに参加できるよう仕組み化する
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		・計画はいつでも読める状態にあり、内容を説明する会議も開かれた。 ・個別支援計画に対する会議が開かれ、個々に説明があつてよいと思った。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13		・おやつ等何を食べたいか、家に持って帰るかもチェックしている。	・仕事に個人の携帯を使うことに少し抵抗がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		・担当を決めて、分担できていると思う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	1	・長期休みは子どもたちのリクエストなど柔軟に企画を変えている。	・内容によっては固定化したプログラムもあって良いと思う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		・連絡ツールのノート機能なども活用し、スタッフの役割や伝達事項を全員に情報共有している。 ・伝達漏れがないようにメールで情報共有している点が良いと思う。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13		・その都度行っている。また、連絡ツールを使ってその日の様子等を全スタッフに共有、把握できるようにしている。 ・職員ごとに記録を書く事によって職員全員が見れるようになっている ・職員間で、子どもの様子など共有しやすい雰囲気があるのは良いことだと思う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13		・日々のおやつや選択や子どもたちの「やりたい」を大切にしている。 ・出来るだけ子供に判断させるよう促している。 ・子ども自身におやつ作りの際は、調理方法を考えてもらう、悪いことをした際に自身がした行動のどこがいけなかったか子どもに考えてもらうことは、子どもの成長のために大切なのでこれからも続けていくと思う。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13		・送迎時に先生から聞くようにしている。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	3		・保護者経由での情報共有が多い。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	2	・公園で知り合った子どもたちと一緒に遊ぶことがある。 ・福祉フェスタ等で他の子供達とダンスをしているのは、子どもたちにとって良い交流や経験となっていると思う。	・公園で地域の子との交流等全くないわけではないが、公園に行くことが減っている。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	10	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	・保護者との面談をしている。 ・特に、強度行動障害のある子の親御さんからの連絡を全スタッフが情報共有しているので、マンツーマンをする際など非常にありがたいです。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	1	・保護者会を開催している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13		・保護者の確認を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	2		・面談するとき、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じているが、必要な助言したかはわからない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	3		・保護者会は開催しているが、兄弟児との交流には課題がある。 ・子育て経験としてお互いに情報交換する機会を設けるべき。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	1	・苦情があった場合、全職員にも周知している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	1	・通信の発行はしている。 ・活動概要等、定期的に保護者へ連絡している。	・SNSは現状手が回らず、投稿はほとんどできていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		・個人の携帯のカメラ機能で子ども達を撮影しない。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		・イラストや写真など、視覚的にわかりやすいように提示するようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	3	・福祉フェスタに参加し、活動を知ってもらう取り組みをしている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	2	・面談時に確認し書類に残している。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	2	・保護者経由で情報を得ている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13			